

2026年3月期 第3四半期 連結業績(減収、純利益は増益) (億円)

	2025年 3Q累計	2026年 3Q累計	増減
売上高	6,030	5,983	▲48 (▲0.8%)
営業利益	291	222	▲69 (▲23.8%)
経常利益	261	193	▲68 (▲26.1%)
純利益	177	184	7 (4.0%)

\* 売上高は前年同期並み。営業利益は医療器の拡販が続くも、塩ビのアジア市況低迷・MOD・MSで米国住宅・建築需要の低調、電材で需要回復の遅れにより減益。  
純利益は政策保有株売却益102億円を計上により増益

2026年3月期決算予測(利益は下方修正) (億円)

	売上高	営業利益	経常利益	純利益
前回発表予想(A)	8,000	370	314	330
今回修正予想(B)	8,000	340	283	315
増減額(A-B)	—	▲30	▲31	▲15
増減率(%)	—	▲8.1%	▲9.9%	▲4.5%
2025年3月期実績	8,072	401	329	253

セグメント別業況

① Material Solutions Unit :

塩ビはアジア市況の低迷が続く、MODは米国市場低迷の中でも高付加価値製品の拡販が進展、4Qは米国市況の緩やかな回復を見込む。MSはグローバルでの需要が回復しアジアを含む各拠点で着実な拡販を見込む。Green Planetは新規採用・販売拡大を見込む

② Quality of Life Solutions Unit:

発泡は価格改定-スプレッド改善が進み収益向上を見込む、電材はポリイミドフィルム・光学用アクリル樹脂の販売好調も 原料高・為替の影響で減益、4Qは高周波ポリイミド・アクリル樹脂改良品などの拡販により収益拡大を見込む。太陽電池は国内 住宅向け高効率太陽電池の販売堅調、繊維は頭髪製品の販売好調

③ Health Care Solutions Unit :

医療器は血液浄化器・カテーテルの拡販が進展し最大の収益事業へ、医薬は3Qはバイオ医薬品販売案件が4Qにずれ込んだが、4Qは低分子・バイオ医薬品の新規案件獲得が進む見込み。

④ Nutrition Solutions Unit:

サプリメントは還元型Q10がグローバル市場での拡販が進展し、収益は着実に伸長する見通し。食品は価格改定・高付加価値品へのシフトが進みスプレッドが改善